



2021年9月10日

日本鉄道労働組合連合会

## 3産別で合同会議を開催！

～この間の共同行動を総括するとともに、現況を確認、今後の対応を検討～

9月9日、JR連合は、サービス連合・航空連合とともに3産別の合同会議を開催した。各会長・事務局長が集い、6月に展開した3産別共同での要請行動等を振り返り、その効果や取り組みの意義を総括するとともに、現況に関する情報を持ち寄った。そして、喫緊の課題と対応の確認を行うのみならず、中長期的な視点から求められる事項も併せて、課題の抽出と具体的な対応方の検討を行った。

交通運輸・観光サービス産業の中でも、とりわけ「広域の移動を担う」鉄道・航空や観光・宿泊・飲食等の産業は、コロナ禍で「外出」「移動」の抑制が続く中、最も甚大かつ深刻な影響を受けている。変異株による爆発的感染拡大（第5波）と医療体制の逼迫により予断を許さぬ状況が続き、私たちの産業のダメージは累積し限界が近づいている。一方で、国民のワクチン接種が進展し一定の効果があることも確認されつつある。

今後は、「ウィズコロナ」社会の継続を念頭において、雇用と生活を守ることを最優先としつつも、「感染拡大防止」と「経済活動の回復・活性化」の両立、「需要と人流の回復」にむけた政策の展開が必要であり、交運労協や連合との連携も含め、時宜を得た取り組みを行っていくことを確認した。

【▼6月に展開した関係大臣への共同要請行動の様子 ～連合・経団連・各政党等へも共同要請を展開】

3産別要請行動【第5弾】～サービス連合・航空連合と連携！～  
西村内閣府担当大臣に国としての移動や観光の不安払拭や安定的支援を訴える



3産別要請行動【第7弾】～サービス連合・航空連合と連携！～  
赤羽国交大臣からJR・航空・観光産業を守る覚悟を確認！



3産別要請行動【第8弾】～サービス連合・航空連合と連携！～  
田村厚労大臣に雇用対策の強化、移動や観光の不安払拭等を訴える



3産別要請行動【第10弾】～サービス連合・航空連合と連携！～  
麻生財務大臣に雇調金の特例措置延長、移動・観光の需要回復策の展開を求める

